

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|--|-----|-------------|---------|
| 科目名(英) | 簿記原理(Principles of Bookkeeping) | | 授業コード | E031651 |
| 担当教員名 | 岡部 勝成 | | 科目ナンバリングコード | E10601 |
| 配当学年 | 1 | 開講期 | 後期 | |
| 必修・選択区分 | 選択(すべてのコース) | 単位数 | 2 | |
| 履修上の注意または履修条件 | 原則『簿記入門の単位を取得していること』が履修の前提条件です。また、出席率が講義回数の2/3を下回れば不合格とします(期末テストの受験はできません)。 | | | |
| 受講心得 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回必ず出席してください(安易に欠席すると講義が理解できなくなる恐れがありますので注意してください)。 2. 電卓・そろばんを必ず持参してください。 3. 教科書を必ず購入してください。 4. 予習・復習を必ずしてください。 | | | |
| 教科書 | 白石和孝編著『簿記概[改訂版]』税務経理協会、2012年(簿記入門で使用したテキスト)。 | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 講義中に教示しますが、さらに上位レベルの技術習得や検定試験の受験をしようと思っている学生は、各種簿記検定試験2級レベルの教科書・問題集を購入することを勧めます。 | | | |
| 関連科目 | 簿記入門、会社簿記、原価計算論A・B、管理会計論A・B、財務諸表論、監査論A・B、経営分析 | | | |

| | |
|-------|---|
| 授業の目的 | 商業簿記を初めて学ぶ人たちのために、その基礎となる複式簿記の知識と技術を詳しく解説します。簿記原理では、簿記入門で学んだ「簿記の基礎」を基にしながら、「取引の記帳と決算Ⅰ」、「取引の記帳と決算Ⅱ」、「記帳の合理化、特殊な取引、支店の会計、株式会社の記帳と決算」などについて講義したいと思います。 |
| 授業の概要 | 簿記の基本を習得し、簿記3級合格レベルに達することを目標に講義を行っていきます。予習・復習を励行し日商簿記2級合格への足がかりとしていきます。 |

| ○授業計画 | |
|--|-----------------------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週：商品売買の記帳(その1) 商品売買の処理法(分記法、総額法、三分法)について説明します。 | 第1回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします |
| 第2週：商品売買の記帳(その1) 注意すべきその他の処理に関して、仕入諸掛、売上諸掛、仕入戻し、仕入値引、売上戻り、売上値引の各処理について説明します。 | 第2回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします |
| 第3週：商品売買の記帳(その2) 補助記入帳である仕入帳、売上帳に関して説明します。 | 第3回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします |
| 第4週：商品売買の記帳(その2) 商品有高帳に関して、帳簿棚卸法や実施棚卸法、さらには個別法、先入先出法、移動平均法、総平均法について説明します。 | 第4回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします |

| | |
|---|---|
| <p>第5週：掛取引の記帳</p> <p>売掛金勘定と買掛金勘定、人名勘定、売掛金元帳と買掛金元帳、売掛金明細表と買掛金明細表、貸倒れと貸倒引当金について説明します。</p> | <p>第5回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第6週：固定資産の取引</p> <p>固定資産の取得、減価償却について説明します。</p> | <p>第6回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第7週：固定資産の取引</p> <p>固定資産の除却と売却、固定資産台帳について説明します。</p> | <p>第7回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第8週：手形取引</p> <p>手形の種類、約束手形、為替手形、手形の裏書、手形の売却について説明します。</p> | <p>第8回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第9週：手形取引</p> <p>受取手形勘定と支払手形勘定、受取手形記入帳と支払手形記入帳、手形貸付金と手形借入金、手形の更改、不渡手形について説明します。</p> | <p>第9回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第10週：有価証券の取引、その他債権・債務の取引</p> <p>有価証券の種類とその利息と配当金さらにそれらの評価、貸付金と借入金、前払金と前受金、未収金と未払金、立替金と預り金、仮払金と借受金、商品券について説明します。</p> | <p>第10回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第11週：費用・収益の繰延と見越</p> <p>損益の整理、費用の繰り延べ、収益の繰り延べ、費用の見越し、収益の見越し、消耗品の会計処理について説明します。</p> | <p>第11回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第12週：伝票</p> <p>仕訳帳と伝票、伝票の種類とその起票、伝票からの転記について説明します。</p> | <p>第12回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第13週：決算(その2)</p> <p>棚卸表の作成とそれに基づく決算修正、8桁精算表の作成、財務諸表の作成について説明します。</p> | <p>第13回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |
| <p>第14週：株式会社の簿記</p> <p>株式会社の純資産、純損益の計上と繰越利益剰余金、社債について説明します。</p> | <p>第14回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします</p> |

| | | |
|---|---|------------------------------------|
| 第15週：総括 | | 第15回テキストとプリントによる練習問題を解いてもらい、解説をします |
| これまでの講義範囲をテキストを使用して復習するとともに、配布プリントにより練習問題を解き、回答解説しより理解を深めます。 | | |
| 第16週：期末試験 | | 配布資料、試験問題、解答例 |
| 15回までの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分、テキスト、筆記用具、電卓、そろばんは持ち込み可とします。ただし、電子辞書、携帯電話、ノート、プリントは持ち込み不可です。 | | |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 地域志向科目 | 該当しない | |
| 備考 | 出席かつ簿記入門が理解できていることが前提ですので、最初に講義を受講し理解できない学生は履修をしないでください。また、単に出席するだけでなく、予習・復習は励行しないといけませんので、心して受講してください。 | |

| | |
|-----------------------------|---|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | 簿記が実態社会とどのように関係しているのか、その必要性和その役割を報告できる。 |
| 【知識・理解】 | 商品売買の処理法、とりわけ三分法をベースとしたさまざまな処理方法を理解できる。 日商簿記3級の知識が理解できる。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 企業の簿記のテクニカルなことはもちろん、その背景や現状が理解できる。 |
| 【思考・判断・創造】 | 簿記の基本から一層向上した論理的思考やその意味が考察できる。 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等 (テスト) | レポート・作品等 (提出物) | 発表・その他 (無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | 10点 | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | 70点 | | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | 10点 | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | | 10点 | |

(「人間力」について)

※以上の観念に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
|-------------------|---|
| レポート・作品等 (提出物) | 受講生が多いため定期試験のウェイトは高くなりますが、練習問題や課題の優劣で加点することもあります。 |
| 発表・その他 (無形成果) | 授業のなかで適宜質問や練習問題を解き、解答解説を行います。優れた解答をした学生は、記録して加点することがあります。 |